

STOP マスク差別 STOP マスク差別



- マスクをすると頭が痛くなる、顔がひりひりする、といった理由でマスクをつけられない子がいます。
- 家族や自分のためにマスクをつけなければいけない子がいます。

マスクができない子もいます。 マスクが^{ひつよう}必要な子もいます。

安城市教育委員会

保護者・地域のみなさまへ

STOP マスク差別について

『マスク』は感染症予防対策としてなくてはならないものとなりました。でも、『マスク』をしていなかったり、『マスク』をしていたりすることで周りから責められることもあると言われます。

- 感覚過敏、皮膚の病気、呼吸器の病気などによって『マスク』ができない子どももいます。
- 感染リスクの高い高齢の家族がいる、家族や自分自身に基礎疾患があるなど、より『マスク』を必要とする子どももいます。

これらの子どもたちに差別や偏見が生まれないように見守ってください。

適切なマスクの着用について

ON
マスクをすることも大切

感染症の心配のあるときにマスクを使いましょう。

OFF
マスクをはずすことも大切

マスクが必要な子もいれば、できない子もいます。ちがいを理解して、みんなでなかよくできたらいいね

マスクの着用について

マスクについては、**場面に応じた適切な着脱**をお願いします。

屋外

季節を問わず、
マスク着用は**原則不要**です。



人との距離(めやす2m)が保てず、
会話をする場合は着用をお願いします。



徒歩や自転車での通勤・通学など、人とすれ違う時も不要



距離を保って、会話をする際はマスクは不要

屋内

距離が確保でき 会話を
ほとんど行わない場合をのぞき、
マスクの着用をお願いします。



マスク着用推奨



十分な換気など感染防止対策
を講じている場合は外すことも可

マスク着用推奨



距離が確保できず、
会話をする時は着用



人との距離(めやす2m)が保てて、会話を
ほとんど行わない場合は着用の必要ありません。

基本的な感染対策はメリハリをつけましょう。
高齢の方に会う時、病院に行く時、通勤ラッシュ時や
人混みの中ではマスクを着用しましょう。

